



人権だより

2019年3月22日

新野高校人権教育課より最終号

教室の窓から見える桜も開花し、春がやってきていることを知らせてくれています。

いよいよ来月からはみんなで阿南光高校に転学することになります。笑顔で新学期が迎えられよう、有意義な春休みを過ごしてください。

今回は「千の舞い～ふるさとへ帰りたい～」 「校内意見発表会」 「落書き消し活動」を中心に、3学期の活動を振り返ります。

～「千の舞い～ふるさとへ帰りたい～」を鑑賞して～

- ハンセン病患者の方々に対して、ひどい偏見を持って接していた人たちを、とても嫌な人だと腹立たしく思ったが、私がもしその当時の人たちだったら、皆と同じようにしていたかもしれない。そんなことは、お互いにとても悲しいことだと思った。正しく知ることが大切だと思う。
- 病気のことや障がいがある人のことを知り、共に生きていくために、みんなが、自分が、何ができるかを考えていきたいと思う。
- 辛い思いをしたハンセン病回復者の方々が、千の風にのって、ふるさとに帰ることができたらいいなと強く思った。

～校内意見発表会の感想～

2年次生

- 今日の意見発表会は、何かいつもと違った。こんなに心に残る作文を聞いたのは初めてだった。最初こんな人権活動なんてただのきれいごとと思っていた自分だが、人の意見を聞くという、こういう活動も必要なんだなと思った。社会人になってもこの活動を忘れないようにしたい。
- 将来の事を考えるためには、色々なことに積極的に参加し、経験を積んだり努力したりすることが大事だと思った。
- 自分はまだ将来のことを全く考えず、逃げていると思う。発表を聞いて、改めて自分は何をしているのだろうと考え直した。
- 皆の前に出て発表という今までにない体験をして、自分自身がまた強くなれた気がする。他の皆が発表してくれた意見も、心が動かされる内容ばかりだったので、元気をもらえた。
- ヘルプマークのことは初めて知ったが、ヘルプマークを身につけている人に出会ったら、ぜひ助けたいと思った。自分がされて嫌なことはしないように気をつけたいとも改めて思った。中には悪用している人もいると聞いて、絶対に許せないと思った。
- 「僕の時間はあの夏で止まりました」と聞いて、なんとも言えなくなった。親しみやすく大好きな彼が、今、病気と闘っている。彼のことをみんなで応援し、行動で彼を支えたい。
- 「差別をなくすために答えは一つではない」「受け入れることが大切」「努力すれば伸びる、しなければそのまま」「小さなことは大きなことに変わる」「相手の立場に立って発言」

- 発表者の「みんなに発表するわけではなく、自分に言い聞かせるため」という言葉が心に残ったし、自分も参考にしようと思った。司会は緊張したけど、これからは生かしていきたい。
- 言葉を選んで話すことはとても大切なんだと思った。
- 人は見た目や違いで差別したり判断したりしてはいけない。実際に話をしたり交流したりすると、お互いの事が理解できて仲良くなれるのだと思った。
- 差別や障がいの事を聞くとときはいつも他人事だと思っていて、目の前に困った人がいても助けようとしなかった。気づきもしなかった。自分が恥ずかしくなった。
- みんなの発表を聞いて、今から頑張ろうと思った。「高校で頑張ったことが将来自分の自信になる」という考え方がとてもいいと思った。「後悔したくない」「前、大丈夫だったから今回も」という考えが糧になっているのだなと思った。

3年次生

※ 卒業された先輩たちの思いを知りましょう ※

辛い経験や苦勞をしてきた人は、人の痛みを人一倍理解することができるのだと思います。私たちが今こうして生きているのは、当たり前的事ではないと改めて実感しました。進路決定のために手厚いサポートをしてくださった先生方、育て、支えてくれた家族、共に頑張ってきた友だちに感謝しています。これから、何事も挑戦して頑張っていこうと思える時間になりました。なんだかんだ色々ありましたが、楽しい3年間を過ごすことができよかったです。ありがとうございました。

～2月28日に落書き消し活動をしました～

～人権委員・整備委員より～ ずいぶん、綺麗になりました！やればできる！

- 2 1 HR どこにも落書きがなくてよかったです。
- 2 2 HR 落書きが残っていました。みんなが気持ちよくテストを受けてくれると思います。
- 2 3 HR なかったです。すっきりして、いいと思いました。
- 特① ほとんど落書きがなく、綺麗に使われていると思いました。
- 特② 落書きはありませんでした。綺麗でよかったです。
- 特⑤ アルファベットや線がありましたが、テスト中のカンニング防止に役立ったと思います。社会科教室 線や黒い汚れがありました。消した後は心も綺麗になりました。

新野高校で出会った私たち。一緒にいろいろな経験を積みながら、泣いたり、笑ったり、怒ったりしていくうちに、いいところも悪いところもひっくり返り、お互いのことが、だんだんわかってきましたね。いろんな仲間がいますね。いろんな思いがありますね。皆、一生懸命、生きているんですね。そんな仲間のことは大切に思えてくるでしょう？

さあ、来年も、みんなで頑張りましょう！